

内藤礼 生まれておいで 生きておいで

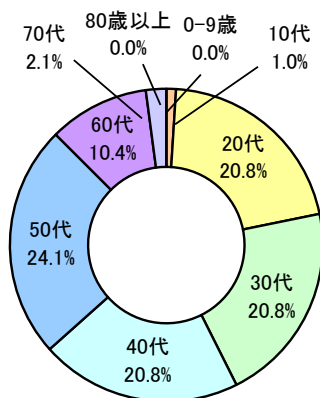
アンケート集計結果

令和6年6月25日(火)～9月23日(月・休) (79日間)

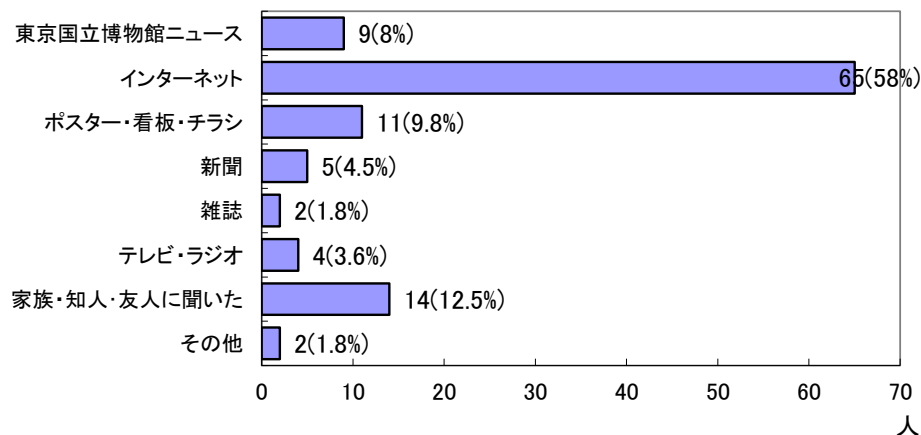
総入館者数：43,780人

回答者数：98人

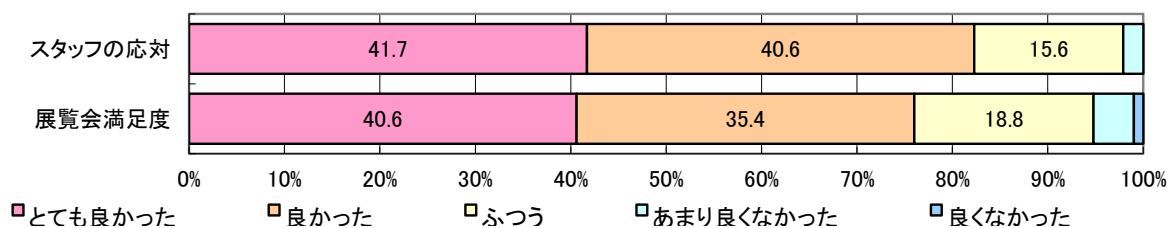
①アンケート回答年齢層



②認知経路(複数回答)



③展示に関する満足度



④主な意見・感想

- ・展示空間が他の特別展とは雰囲気が異なっていてよかった
- ・普段は入れない特別5室に入ることができてよかった
- ・順路が少し分かりにくかった
- ・第三会場が調整中だったのが惜しまれた

注：上記数字は以下の通り

	あまり良くなかった	良くなかった
スタッフの応対	2.1	0.0
展覧会の満足度	4.2	1.0

(%)

「内藤礼 生まれておいで 生きておいで」は、現代美術家・内藤礼が当館所蔵品との出会いから構想した特別企画です。

アンケートの回答では、現代作家の作品を扱った珍しさや新鮮さ、総合文化展や普段当館で開催される特別展とは様相の異なる静謐かつ広がりを感じる展示空間に対するコメントを多く頂きました。

また、平成館企画展示室から観覧をスタートし本館の2会場を観覧した後に、再び平成館会場に戻る形での鑑賞順については、間に徒歩移動をはさむ点からも、「わかりにくい」というご意見を頂いていました。このようなご意見を受け、会期後半からは順路表示を増やす等の対応を行ったことで、鑑賞順のわかり難さへの改善を図りました。

なお、第三会場の「母型」については、本館・総合文化展15-16室間のスペースで往来がある中の展示であったため、アンケート実施当日に限らず同作品は何度か調整中とする場面がありました。床面に近い位置で、非常に繊細な作品を露出展示した事例として、今後の参考といたします。

今回のアンケートの結果も踏まえ、引き続き、よりよい観覧環境の提供へ検討を重ねてまいります。